

震災をのりこえる すごいぞ！新潟 令和6年新潟まつり開催！



大民謡流し・萬代橋（9日）



大民謡流し・本部舞台（9日）



水上みこし渡御（10日）



市民みこし（10日）



住吉行列（10、11日）



お祭り広場（10、11日）

新潟まつり（実行委員長：福田勝之会頭）が8月9日（金）～11日（日）に開催され、新潟の街がまつりイベントで活気づきました。

今年は能登半島地震からの復興を打ち出し、「震災をのりこえる すごいぞ！新潟」をキャッチフレーズに開催しました。さらに「佐渡島の金山」の世界遺産登録決定を受けて、お祝いの横断幕を大民謡流しの本部舞台に設置したほか、最終日の花火大会では打ち上げ直前にお祝いのアナウンスを行って、まつりのフィナーレを大いに盛り上げました。また、昨年に引き続き、市民参画プロジェクトも市内各地で行われました。

天候にも恵まれ、3日間の総人出数は約491,000人となりました。

多くの事業所、市民の皆様からご協賛・ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。



花火大会（11日）

7月17日(水) / 参加者13名



リニューアルが進む佐渡空港を見学

世界遺産登録目前の佐渡金山関連施設を見学 観光業部会 (星野佳人部会長)

観光業部会では佐渡市への視察見学会を開催し、世界遺産登録に向けた観光客受け入れ体制整備などについて研修しました。

チェックインや宿泊、飲食、体験プログラム等を別々の建物で行う“分散型ホテル”として相川地区で開業した「NIPPONIA 佐渡相川 金山町」では、宿泊客が地元のお店を回遊してより深く街の魅力を知ることができる仕組みについて説明を伺いました。

また、佐渡空港は今年度中に予定されているトキエアの新潟ー佐渡定期便就航に向けてリニューアルが進められており、増築された待合室や改良された誘導路等を見学しました。

7月20日(土) / 参加者10名



セミナーの様子

ハラスメント対策を考えるセミナー

中小企業の日である7月20日(土)に、新潟県弁護士会と当所共催で、そらいる法律事務所 弁護士 中村 亮平 氏を講師に招き、「ハラスメント対策を考える」セミナーを開催しました。

中小企業にもハラスメントに対して講ずべき措置が義務化されてから2年経った現在の情勢を振り返るとともに、改めて事業者がどのような措置を講ずるべきかについて解説しました。

参加者からは、「基本的な考え方が知ることができて良かった」などの感想が寄せられました。

7月18日(木) / 参加者19名



グループ別に情報交換を行う様子

若手社員・若手起業家のための ビジネス情報交換会を開催！

ビジネス情報交換会では、参加者同士が自社の技術・製品・サービスについての情報を交換することで、より直接的にビジネスチャンスの拡大に繋げていただいております。今回は、参加対象を「若手社員」「若手起業家」に限定し、自社PRや情報交換を通して自らの仕事に対する理解力や営業力を磨くことを目的に加え行いました。

参加者アンケートでは、「同年代の方と交流ができた刺激になった」「想像できなかった企業との出会いがあった」「ビジネスの場でありながら和やかな雰囲気だった」などの声が聞かれました。

8月5日(月) / 参加者14名



講演会の様子 (左：荒井氏、右：芦澤氏)

物流革新に向けた政策パッケージについて学ぶ 輸送業部会 (生田雅祐樹部会長)

令和5年に物流の革新に関する閣僚会議で決定した「物流革新に向けた政策パッケージ」をテーマに講演会を開催しました。

第1部では北陸信越運輸局 貨物課長 荒井 信吾 氏よりトラック運送事業の現状と課題及び、物流法案の概要などについて解説がありました。

第2部では同局 交通政策部 環境・貨物課長 芦澤 千恵子 氏より物流効率化の取り組みとして、機械化やデジタル化を通じて物流のあり方を変革する「物流DX」をはじめ、モーダルシフトや中継輸送に関する説明のほか、国の推進事業の紹介が行われました。